広報つなぎ

昭和61年 **9月** No.248

発行／津奈木町 編集／企画課 印刷／水俣旭印刷所

人口と世帯（8月1日現在）人口6,137（－9）・男2,913（－6）・女3,224（－3）・世帯1,717（－4）　（　）内は前月との比較

若いもんには負けられん

ハツラツカップル①

合わせて一八七歳

元気いっぱいの林田さん夫婦

二人合わせて、一八七歳という津奈木一の長寿夫婦が赤崎に住む林田荒喜さん（明治三三年五月五日・九六）、サヨさん（明治二八年一月二八日・九二）夫婦。（二人とも赤崎生れの赤崎育ち）

大正三年一二月九日に結婚して七三年ということから、仲のいい夫婦ぶりが伺われるかと、さっそく訪ねてみました。

いつも笑い声が聞えるという、玄関を入ると、家族の皆さんが快く迎えてくれ、少しの時間だけ、アットホームな家庭に触れさせてもらいました。

まるで、大阪漫才でも聞くような家族のたのしい言葉のやりとりの中に初対面とは思えない親しみを感じます。

荒喜さんの「二年位前までは、歩くのもきつなかったばってん、こんごろ、おっくうになってな」という少々弱気な言葉に、長男の信雄さん（世帯主・七〇）「足ばつかわんばつまらんごてなるばい」と一言。本人も笑いながらうなずいておられました。

言いたいことがあれば、隠しだてなく、ざっくばらんに言うことがこの家庭の円満の秘訣。長寿は回りの環境からとよく言われますが、ここの家族を見ていますと、その言葉、間違いないようです。

四人家族で三人は三百の敬老会に出席という高齢家族、荒喜さんいわく。「長生きの秘訣は、酒もたばこも間食もせでな、三度めしばきちんと食うごつですな。めしのうちなかごつなったら終りですけん。」

「夫婦仲もいつもなか良かつてん、やっぱたまには、漫才のごつケンカせんば、ボケちしまいますけん、連れそって七二年、いまでんそうケンカしますと。」

写真を庭でと頼み、ファイダーをのぞくと、腰もまっすぐに伸び大地をしっかり踏み、微笑んでおられる姿に驚きながら、二人なら二〇〇歳を超えるのもなんなくこなされるだろうと確信した次第。

「まだ、まだ、若いもんには　負けられん。」

「生涯ワサもん好き」とワープロをうつ岡松さん

ムクムク

マッシュルームを特産に

ひんやりとした涼しい庫内に入り、栽培棚の上を覗くと、真白いマッシュルームが十個位ずつ一固まりとなり、数箇所に頭を出しており、その群から一個ずつ頭を痛んで取り出し、根の方を鋏で切り落し、手際よく箱の上に並べて行きます。

今、選果場冷温貯蔵庫の中では、マッシュルーム栽培が行なわれています。五十九年から町の特産物にしようと試験栽培が続けられており、今年も六月中旬に種菌を植付け、七月下旬から採集を始め、今出荷の真盛りです。

採集したマッシュルームは八十一百グラムずつトレーにパック詰めし、主に熊本市へ出荷しています。多い時は百パック、少ない時で三千パック位、毎日十月末頃まで続けられるそうです。

マッシュルームとは何だろうか!!と、ご存知でない方がおられるかもしれませんが、別名西洋マツタケと言われており、色々な料理が楽しめます。最近ではマッシュルーム入りのカレーの宣伝も見かけますが、そのほかサラダ・グラタン・シチュー・煮こみ等また沢山の料理方法があります。

まだこれから消費が伸びる産物という事ですが、今のところ特定産地がないので、ぜひ本町の特産物として、全国に津奈木のマッシュルームの名が届くように、と農協ではりきっています。

仕分け作業中のマッシュルーム（選果場）

玉手箱には手をかけまい

ハツラツカップル②

「玉手箱へ」の出発点となったディズニーランド

今年八六歳を迎える岡松壮さん（染竹）と妻かきさん（八一）は町内でも有名なおしどり夫婦。米寿を迎える記念に五九年一月、東京・郡山・仙台・新潟・金沢と三千キロのドライブ旅行。この旅行記をとのほど壮さんが自費出版された。題して「玉手箱には手をかけまい」。浦島太郎のように、生きる希望を失って玉手箱に手をかけたりはしまいという意味が込められている。

壮さんが車の免許を取ったのは六五歳のとき。四六年から四年かけて夫婦一緒に軽自動車で日本一周を試み、その模様を「旧婚どころ道中記」として出版。「玉手箱には手をかけまい」は続編で、その時見落とした所を選んだとのことで著者の作品としては四冊目になる。又、この旅行記の原稿は殆くとに、すべてワープロで書かれており、八六歳にして、現代の最機器をマスターするなど、若者顔負けの現代志向。

「字が下手なもので…」と本人は笑っておられるが、達筆なため印刷屋が読めないと理解した方が正しいようである。

「ワープロは複雑怪奇と思っていたが、やってみると怖いもんじゃない。ただ肩がこるので腕立て伏せを毎日二五回やってるんです。」

と意気盛んな岡松さん、やりたい放題させてくれる妻のかきさんに感謝しながら、毎日四時間つづというワープロに向かっておられた。

「まだ、まだ、若いもんには　負けられん。」

岡松さんの著書「わが町津奈木」「津奈木と西南の役」「旧婚どころ道中記」。

※「玉手箱…」が、わずか数冊ですが残っています。希望の方は一冊千二百円で分けて頂ける。

いつまでも元気で　町内長寿百傑

（昭和61年9月1日現在）

順位	部落	氏名	年令
1	谷尾崎添木	モキ登シ義義作一吉ノ智エチキノマルミ次マ篤満吉敏エヨ義郎キヨ義ノヨ郎ノ壮太イキ満ヨ郎カモキノズ吉五	88
2	泊当	ズオ安トト重重郎 惣イルミチエタゲユ代キ 維恵義初ナ重四エチ次ヤメ菊ジ 孫セリ豊サ次ノテリサシ清兵	〃
3	竹野竹添泊川下上添当泊浦泊 浦尾当尾川尾泊木尾添川門 添添中尾泊尾崎添中谷上下木竹	シ 四 木 ツ ス シ 己 清 ム 木 フ 岩 マ貞	〃
4	〃 〃 〃 中 中奈下〃国 中 〃 〃 国	野浦本村川口藤坂田々山野下本田藤野口見崎田川崎島春口本上本本立ガ野岡々松添々村迫田本	87
5	国国	長 サ 直マ 善 木 津木 キ 清	〃
6	染内染日大新平平日大福大	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
7	〃 〃 〃 津 〃 〃 〃	楠今浦林永中松松林宮蟻豊前竹佐川長謙林森山福柳山福農伊山浜川柳石福謙山門吉椎本成佐久林佐志岩野長永鶴	〃
8	大日	染内染日大新平平日大福大 福中日古新中大小中日古上日大竹桜大古浜日町倉平小染	〃

順位	部落	氏名	年令
51	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	郎ゲヨ喜人ヨマ郎カ平クキエモノソソ市ヲ熊作ノ吉ワトモ郎ノ三つエ太ト郎ル義喜ヲエ篤茂吉未ノヌヨ郎ジュ	97
52	当崎中内浦下泊当泊上中崎	市シミ荒勝ツハ三ム持サタチシキキチ彦ヽ安太彌シ茂チセキ次ソカ次ホノ雪チ太ツ忠辰タサ々貞鳥クトチ次ル	96
53	国国	十 長 木 直マ 善 木 津木 キ 清 ツル	〃
54	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
55	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
56	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
57	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
58	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
59	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
60	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
61	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
62	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
63	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
64	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
65	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
66	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
67	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
68	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
69	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
70	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
71	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
72	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
73	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
74	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
75	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
76	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
77	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
78	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
79	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
80	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
81	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
82	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
83	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
84	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
85	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
86	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
87	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
88	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
89	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
90	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
91	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
92	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
93	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
94	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
95	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃
96	国	本川田田里村本田田島川田田田々崎浜山田本口田迫本山中藤崎本野迫田田山本崎野葉山田山浜山	〃
97	国	原芦松上下谷伊前開津謙平山森平斉吉田高岩林蟻岩福本谷坂村浜柳新竹真北津農農千久志前浦長山千柳浜藤林	〃
98	国	尾川上当竹門当崎添当添下川当 内添尾竹当当添竹当尾木門 上川尾泊中泊内浦竹尾	〃
99	国	中 国 下 中奈下〃国 中 〃 〃 国	〃
100	国	古古平日染上日浜日日平古日 川日古染日日染日古小上 平新古大竹大川福染中 日浜町川福平大日大平竹浜	〃

敬老会は九月十三日(土)　場所　改善センター　午前十時より

グリーンピック'86 好評開催中

家族・友人でぜひご来場下さい。

北岡ゆみさん
S39.5.24生まれ　22歳
血液型　B型

自分について一言
内ごう的人間でボーッとしてるので、自分の意見を言える、積極的人間になりたい。

今の目標
小さなことでもいいから、決めたことを持続すること。

今やりたいこと
休みをとって旅行をしたい。沖縄とかもいいですけど、温泉めぐりも最高ですね。

理想のタイプ
明るく、ひょうきんで、自分をかざらない積極的な人がいいですね。

野崎伸也さん
S40.10.8生まれ　20歳
血液型　A型

仕事の話しを
万年石油に勤めて半年、仕事にもなれて忙しい日々を送ってます。

盆にはどこへ
いむた池までドライブに行ったのはよかったんですが、パトカーに呼びとめられ、今から鹿児島の暴走族が来るから帰れと言われ、テクテク帰って来た次第。

趣味は
今のところは車（マークⅡ）、単車がほしいですね。

理想の異性は
やさしくて正直な日本的女性がよかですね。

青春とは
今……この時。

お知らせ

農業委員会より

農地転用許可済標識板の設置について

一、農地は農家の財産というだけでなく食料を生産する基盤です。このような社会的な役割を持っている農地を農地以外（宅地・山林等）に転用する時は、農地法の許可が必要です。

二、農地転用の許可を受けられた方は「農地転用許可済標識」を許可を受けた土地の見やすい場所に掲示することになりました。

三、この標識板は交付の日から転用が完了した日まで垂木等で地上一m位の高さで掲示して下さい。

四、標識板は九月許可分より一件四〇〇円であっせんします。

裁判所より

不動産競売の期間入札

入札期間
昭和六十年九月　十六日から
同　六十年九月二十二日まで

入札物件については裁判所書記官室で物件明細書、評価書等（写し）を閲覧して下さい。
℡三二一二七五
八代市西松江城町　一四一
熊本地方裁判所八代支部

防火管理者資格取得講習会

一、日　時
昭和六十年十月二十日・二十一日
午前九時～午後四時

二、場　所
水俣市公民館

三、申込期間
九月八日～九月二十日まで

四、申込場所
水俣・芦北消防組合予防課又は、津奈木出張所（役場内）

※詳細については、消防組合予防課（℡三二一二一）へ

身障者巡回相談所開設

次のようなことで相談したいことがありましたら、巡回相談所を開設しますので、利用して下さい。

一、日　時
昭和六十二年九月十八日（木）
○受付　午前十一時～午後二時
○診査　午後一時から

二、場　所
芦北町社協センター八（二・三二三）

〈相談内容〉
一、身体障害者としての手帳の交付を受けたい方、手帳は持っているが障害程度が著しく変化したとか、新たに他の障害が加わった方で等級の変更、追加したい方の診査

二、補装具（義手・義足・車いす・補聴器材等）の交付や修理の相談

三、更生医療に関する相談

四、身障施設に入所したい方

五、その他職業や生活などの相談

乳幼児検診

次の日程で乳幼児検診を実施しますので、母子健康手帳御持参の上ぜひ受診下さい。

一、日　時
昭和六十一年九月十二日（金）
午後一時三分～一時三十分

二、場　所
津奈木町改善センター

三、検診内容
身体計測・内科検診・歯科検診・育児相談等

四、対象児
昭和六年十二月一日から昭和六十一年三月三十一日までの出生児

※対象児以外の子供さんで、検診を希望する人あるいは、相談のある人も受診下さい。

三歳児健康診査

次の日程で三歳児健康診査を実施しますので、ぜひ受診下さい。

一、期日及び受付時間
昭和六十一年九月十八日(木)
午後十二時三十分～一時三十分

二、場　所
水俣保健所（℡六三一四一〇四）

三、対象児
昭和五十八年七月一日から昭和五十八年八月三十一日までの出生児

※母子健康手帳を御持参下さい。

衛生係より

一、農村地域定住促進対策事業
川内地区は場整備工事
事業費　四二、〇八〇千円
事業量　三・一八ha
工　期　六一年八月一三日より
　　六二年三月二〇日まで

○団体営農道整備事業
船泊地区農道整備工事
事業費　九四〇〇千円
事業量　延四二八m
工　期　六一年八月一三日
　　より同年一一月二〇日まで

○川南線改良舗装工事
事業費　一、五五〇千円
工　期　六一年八月一四日
　　から同年一一月一五日まで

○町道新川中尾線改良工事
事業費　一四、九五〇千円
工　期　六一年八月一四日より
　　同年一二月一五日まで

○地方道赤崎線道路改良工事
事業費　二〇、三八〇千円
工　期　六一年八月一四日より
　　同年一二月一五日まで

○町道男島北通り線道路新設工事
事業費　二、四五〇千円
工　期　六一年八月二七日
　　より同年一二月一〇日まで

○男島北通り線配水管敷設工事
事業費　六、〇五〇千円
工　期　六一年八月三日
　　より同年一二月一〇日まで

○交通安全施設設置工事
事業費　一、四五〇千円
工　期　六一年八月一四日より
　　同年一一月一〇日まで

○並型魚礁設置事業
事業費　五、四七〇千円
工　期　六一年八月一三日より
　　同年一一月一五日まで

八月の発注工事

競舟大会

去る八月十五日、大浜港で盆恒例の競り舟大会が行われた。抜けるような青空の中、各地区から二十チームが参加、スタートの合図とともに、はや鉦（かね）が鳴りひびき、水しぶきを上げて海原を力漕。各地区の応援も負けじと声援を送っていた。

結果は次のとおり
優勝　大泊
二位　平国下
三位　福浦

野球大会結果

優勝　平国下
二位　上下門
三位　平国上
　　大泊

ご芳志お礼

10/5　各小学校運動会

部落　世帯主　故人
竹中　山崎　満年　由美
町中　北岡　ミチ　清
新川　宮田　利美　利也
新川　村上タキ子　藤蔵
平国下　鬼塚　恵　忠義
上下門　深水　富子　正雲

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。この寄付金はご意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

（敬称略）

九月の行事

七　日○町民体育祭卓球大会
　　海洋センター
　　○津奈木体育館運動会
二三日　敬老会　改善センター
二六日　町民と自衛隊のつどい
　　改善センター
二〇日　県民体育祭　八代市
二一日まで
二八日○中学校運動会
　　○津奈木幼稚園運動会

町民と自衛隊のつどい

日　時　9月16日(火)午後7時より
場　所　改善センター
プログラム　音楽演奏/生オケ/踊りなど

9月10日から17日まで陸上自衛隊小郡第五施設団から約200名が水難訓練を実施致します。関係者には大変御迷惑をお掛けしますが御協力下さいますようお願い致します。

「救急の日」ってなに？

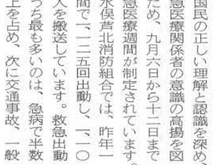
九月九日は、救急の日です。

救急医療及び、救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、九月六日から十二日までを救急医療週間が制定されています。

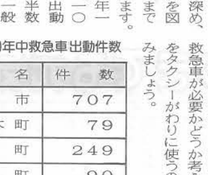
水俣芦北消防組合では、昨年一年間で、一二五回出動し、一一〇一人を搬送しています。救急出動のうち最も多いのは、急病で半数以上を占め、次に交通事故、一般負傷となっています。救急患者の傷病程度の割合は、全体の七四%は軽症と中等症で、重症者は約二割にすぎません。

救急車を要請する前に、本当に救急車が必要かどうか考え救急車をタクシーがわりに使うのは慎しみましょう。

2図



3図



1図　昭和60年中救急車出動件数

市町名	件数
水俣市	707
津奈木町	79
芦北町	249
田浦町	90
合計	1,125